

隈上雅志さん  
(宿泊業・ノルディックウォーカー)

仲間・家族の思いを胸に次のステージに立つ隈上さん。浅間山北麓の魅力を伝えていきたいとの意気込みを伺いました。

兵庫県加古川市生まれ、自然の続く平野に静かに加古川が流れています。その辺で幼い頃から木々のささやきや風の音を感じて過ごしてきました。

2008年仲間の声に押されて北軽井沢に移住しました。「快晴の青空、雄大ながらもやわらかい浅間山を目にしてヒラメキを感じた。迎え入れてくれていると実感した。」

移住3年後にはノルディックウォーキングに出会い、浅間山をベースに距離を少しずつ増し、近隣の山々へと広がっていきました。「それはまるで大地をスキャンするかのようで自分の足で確認することが出来た」と熱い思いを語ってくれました。

その後、北軽井沢観光協会を通じジオパーク活動に参加するようになりました。ジオパーク活動は変化する勇気を与えてくれると語ってくれました。これも仲間や地元の方々の暖かい出会いがあってこそと感謝していました。

来年、夏開業のホテルで総支配人を勤める予定で、多忙な日々を過ごしています。

笑顔の奥には新たな意気込みと浅間山の魅力を伝えたい思いと信念を感じました。



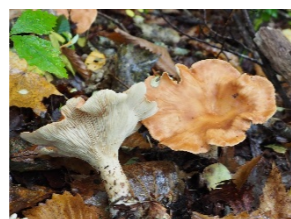
浅間山北麓の森林で、きのこ植物との関係を考える

糟谷 大河  
(慶応義塾大学経済学部生物学教室准教授)

浅間山北麓には森林が広がり、さまざまなきのこが観察できます。森林の中で、きのこは落葉や枯木など、生物の遺体・老廃物を分解し、無機物に還元するという重要な役割を持っています。嬭恋村の鹿沢園地周辺は、ミズナラ、コナラ、アカマツ、カラマツなどの混交林が広がり、きのこの観察に適しています。特に秋には、このような樹木の落葉や枯木を分解するカヤタケ(写真1)、チャナメツムタケ、シロナメツムタケなどのきのこが多く見られます。

一方、森林には動植物と共生生活を営むきのこも存在します。特に、多くの植物ときのこは、菌根と呼ばれる構造を形成して共生しており、森林生態系の中できのこは不可欠です。菌根は、きのこの菌糸が植物の根の表面を覆ったり、その内部に侵入したりして形成され、その形態や生態は多様です。菌根を介して植物ときのこは栄養分を交換しているほか、植物の根の周囲をきのこの菌糸が取り巻くことで、根が物理的に強くなり、耐寒性や耐乾燥性を獲得したと考えられています。

浅間山溶岩樹型周辺の森林では、初夏にギンリョウソウ(写真2)という植物が観察できます。ギンリョウソウは、ベニタケ属など菌根性のきのこから栄養を奪って生活する植物で、光合成することをやめたため、葉緑体を失い、透明感のある姿をしています。浅間山北麓の森林を歩くと、きのこ植物との間に見られる、生存をめぐるさまざまな関係が実感できます。



(写真1) カヤタケ



(写真2) ギンリョウソウ

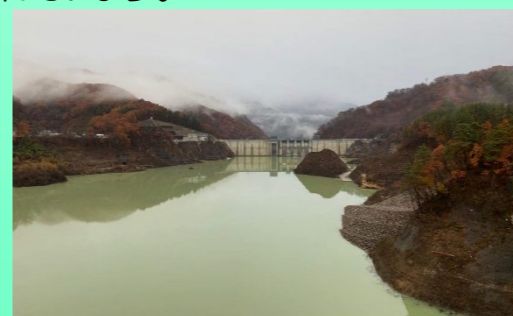
# あさまびと



写真提供：国土交通省 利根川水系砂防事務所

## ▲片蓋川の砂防堰堤工事

普段、水の無い片蓋川も、雪解けや豪雨時には水が集中します。火山災害時に遠くまで被害を及ぼすと言われる泥流を防ぐため進められている大規模な堰堤工事。堰堤はもう2カ所濁沢、地蔵川でも進められています。



## ▲ハツ場ダムを満杯にした豪雨

吾妻西部、浅間山北麓に降った雨水はすべて吾妻川に集まります。貯水を開始したハツ場ダムは今回の降雨によって一気に満水状態になりました。

自然と向き合う  
十月の台風十九号は浅間高原の各所で激甚な災害を及ぼしました。百年に一度といわれた記録的な豪雨の災害のあと、いま地域をあげて復興が進められています。  
私達の住む浅間山北麓は文字通り浅間山の火山活動によってつくられた大地です。古くより先人たちがこの自然や地域と向き合い、土地を利活用する社会を築いてきました。より安全な地域づくりを進めて後世に伝えたいです。  
浅間山の活動は、十一月六日、噴火警戒レベルが2から1に引き下げられました。観測網の充実によってもたらされる安心感です。また冬場に起こりやすいと言われる浅間山の融雪型火山泥流や噴火後の土石流災害を減災するための大規模砂防堤防の工事が国土交通省によって進められています。自然と向き合いながら暮らしや社会を築いていく浅間高原です。

## イベント情報 活動報告



【ガイド研修会】  
2019年10月4日と5日に吾妻渓谷でガイド研修会を開催されました。ベテランガイドが講師となり新人ガイドの育成のため、実施されました。実りある研修会となりました。



【ジオパーク関東大会】  
2019年11月17日～18日 第6回日本ジオパーク関東大会 in伊豆大島が開催されました。ジオパークの魅力を感じられた素晴らしい大会でした。2021年浅間山で開催予定です。

発行元：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council  
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494-45  
TEL/FAX：0279-82-5566  
URL：www.mtasama.com  
E-mail：geo-asama@vill.tsumagoi.gunma.jp  
Facebook：  
www.facebook.com/asamageopark  
制作担当：広報・観光委員会

## ガイドの受付しています

「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしています。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。  
【料金表：ジオガイド1人あたり】  
半日¥5,000～8,000 ジオガイド1人につき  
1日¥10,000～16,000 15名位までガイド可

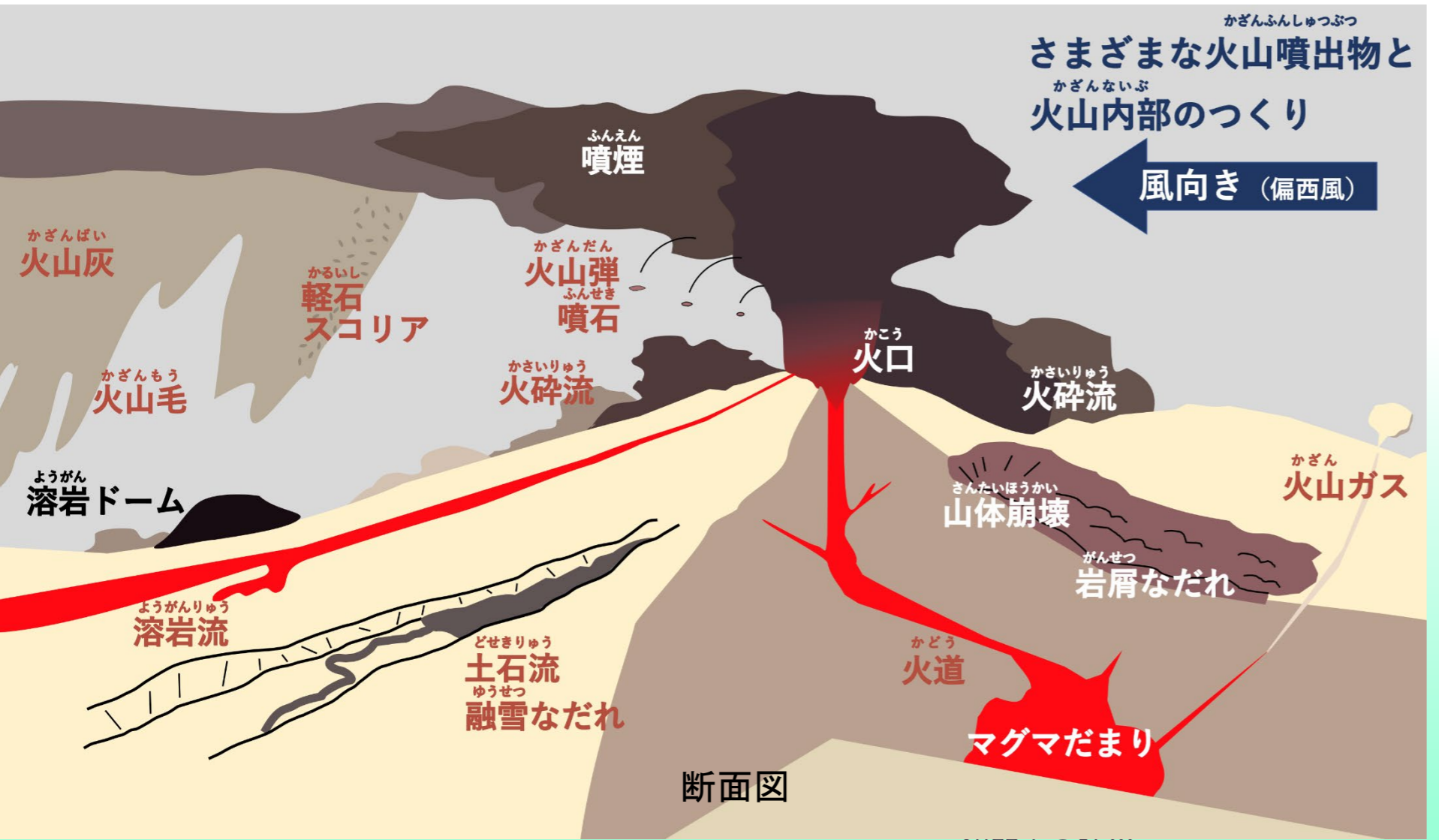
## 編集後記

今回は防災を中心に特集させていただきました。浅間山の防災体制は知っているようで知らない砂防工事です。今後もジオパーク活動を通して皆様にご紹介していきたいと思っております。

# 浅間山とともに暮らす

ジオパークを楽しむエリアのひとつ浅間山山頂エリア。噴火警戒レベルが1になって、火山を学び、暮らしとのかかわりを見つめる良い機会かもしれません。ところで近年、私たちの国土は今回の台風や豪雨水害に加え、地震や火山噴火も頻繁に起き、「身の安全を確保してください」というアナウンスを耳にするようになりました。

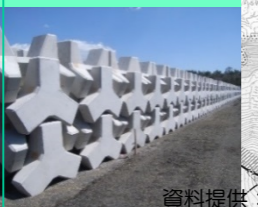
日本は世界の火山の1割が集まっているので、火山を知ることは自然とともに暮らすうえでとても大切です。今回は、安心・安全に暮らすためにどのような取り組みがあり、また、国土交通省が工事している砂防堰堤等について工事現場を訪れたので併せて紹介します。



## 雪解けによる火山泥流と噴火後の土石流に備える

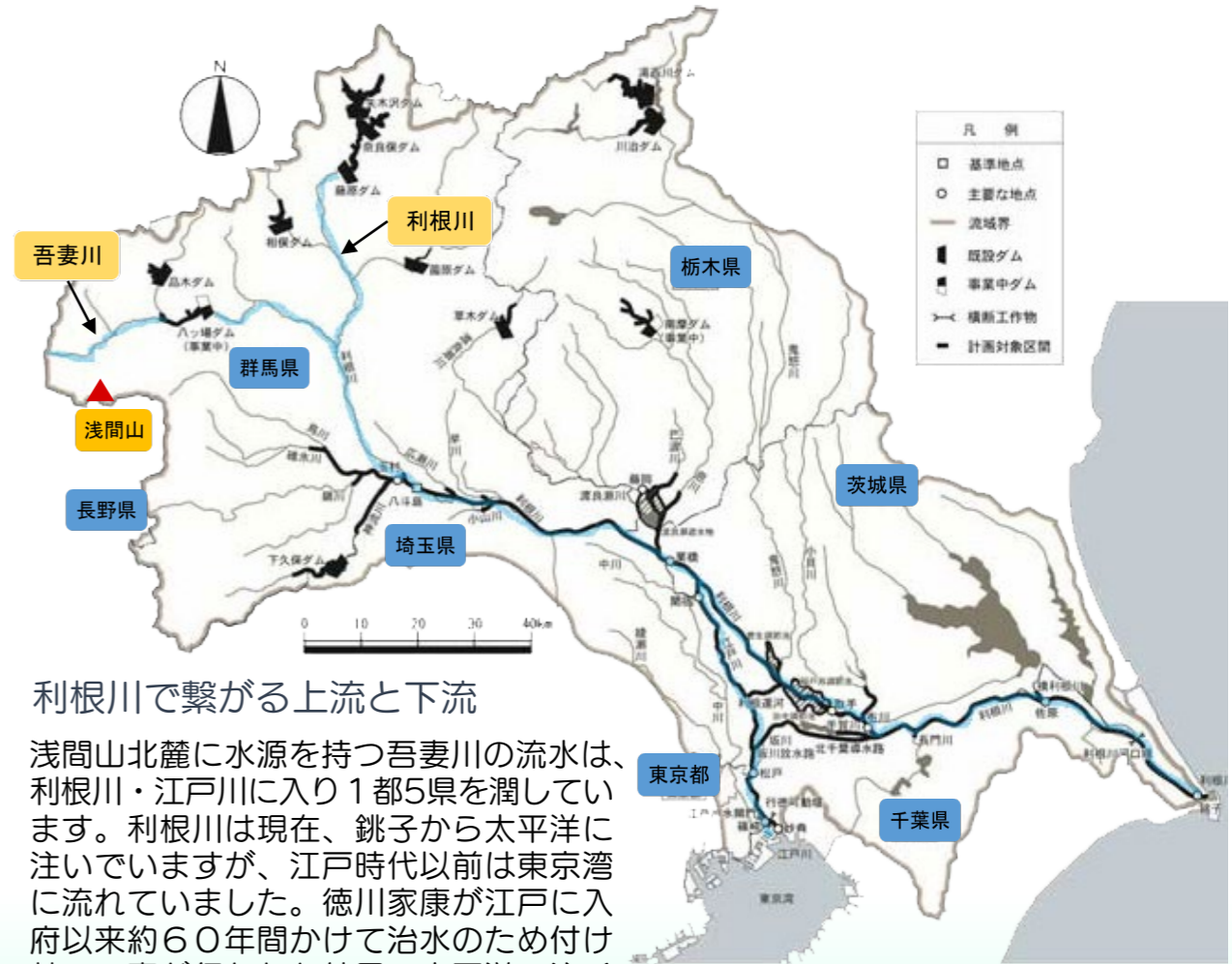
火山噴火にともなう様々な現象のうち広く下流域まで被害をもたらすといわれている泥流。特に融雪型火山泥流と噴火後の土石流を防ぐために、浅間山のふもとで、国土交通省利根川水系砂防事務所によって、大規模な砂防施設の建設が進められています。案内していただいた片蓋川には2ヶ所の堰堤があり、第2砂防堰堤は長さが約340mという大きなものでした。下流域の安全のために、浅間山周辺でいくつもの工事が進められています。

ブロック  
群馬県側製作総個数 9,781個  
ブロック重量：3t型  
うち、砂塚ストックヤード備蓄数  
3連ブロック：6,339個  
(令和元年9月末時点)



## 浅間山の防災

浅間山は有史以降も数多くの噴火記録があり甚大な被害が発生しています。天明3年の噴火では、火砕流に伴う泥流や噴火による土石なだれの発生により、山麓のみならず利根川流域に大きな被害をもたらした。主な火山災害の種類としては、融雪型火山泥流や噴火後の土石流があります。現在、国土交通省の浅間山直轄火山砂防事業では、火山噴火緊急減災対策として、中規模噴火によって発生する土砂災害を軽減することを目的として、片蓋川砂防堰堤や緊急時に使用するコンクリートブロックの備蓄等様々な工事が行われています。また、ソフト対策では、関係機関と連携して、火山防災マップの作成や防災訓練など防災体制の強化を進めています。



浅間山北麓に水源を持つ吾妻川の流水は、利根川・江戸川に入り1都5県を潤しています。利根川は現在、銚子から太平洋に注いでいますが、江戸時代以前は東京湾に流れていました。徳川家康が江戸に入府以来約60年間かけて治水のため付け替え工事が行われた結果、太平洋に注ぐ川となったのです。その後も、大きな洪水の度に治水工事が行われ現在でも続けられています。上の図は、平成25年に国土交通省関東地方整備局が作成した利根川・江戸川河川整備計画の対象地域を示したものです。令和2年3月に完成予定のハッ場ダムが、事業中ダムとして示されています。



## 浅間山の観測体制

浅間山における火山観測の歴史は古く100年以上前から観測されていました。現在浅間山周辺では、地震計や空振計、傾斜計、GPS、監視カメラ等多数の観測機器が設置されています。気象庁や大学などが、傾斜計やGPSを使って地殻変動を調べたり、火口から噴き出る火山ガスの放出量を調べたり、これらの機器を使って24時間体制で観測しています。



## 浅間山北麓ジオパークdeクイズラリー ～防災を子どもたちと考える～

夏休みに地域の子もたちが、旧鎌原村、鎌原観音堂、資料館などを巡り、浅間山の自然のすばらしさと噴火の歴史を学びました。特に天明3年噴火災害と復興の過程を知り、防災と減災についてより理解を深めました。

